



社会新報 (岡山県連合版)

2017年2月1日
(共謀罪批判・裏面)

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)
〒100-8909 東京都千代田区永田町2-4-3
Tel.03-3592-7515 1部180円月700円千160

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

発行責任者 武本恒夫

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: sdp_okayama@helen.ocn.ne.jp



マイクリレーを終え「いっほん」を掲げる参加者

記録的寒波も一休みの1月28日、岡山駅さんすて前で市民団体おかやまいっほんと野党4党(民進・共産・自由・社民)が安保法制の廃止を求め街頭マイクリレーで訴えた。いっほん共同代表の大坂さん「戦争できる国にしたいくない。意見・立場をハッキリさせよう」と述べ、続いて各党から「共謀罪は関係ないと思っ人も全てが対象・民進」「ウソ・ゴマカシの政治は長くは続かない。共闘で政治は変えられる・共産」「一党で

昨年夏の参院選は、全1人区32選挙区で野党共闘が成立、11議席で勝利した。ことし予想される衆院解散・総選挙でも、これまでの市民・野党共闘の成果をさらに強くしていこうと、「おかやまいっほん」の呼びかけて今年初めて街頭にそろった

戦争法廃止・憲法改悪阻止へ！
市民・おかやまいっほん・野党

も最強のカンパが吹く1月19日夕刻、岡山駅前で戦争法廃止総がかり行動が行なわれ、市民、団体など50名が参加して、マイクリレーで訴えた。沖縄の基地反対で「一部基地返還でも高江ヘリパッド建設で機能強化され負担軽減ではない」と地元女性の声を紹介。「原発避難の子どもイジメ、災害復旧で活躍した自衛隊が、海外で殺し殺されようとしていく」「(高教組)「沖縄のおじい、おばあへ差別発言に無批判に同調するような

は難しくても共闘で奇跡をおこそう・自由」とアベ政治ストップを訴え、社民党・武本幹事長も「国民の願いと逆行する政治を打破、一緒に変えていこう。求められるのは憲法を活かすことだ」

2017新春岡山社会文化会館講座

又市征治の ” 平和憲法にまなぶ & トーク ”

場所：岡山県立図書館2F デジタル情報シアター
日時：2017年2月4日(土)
開場13:30 開会14:00~16:00

講師：参議院議員(社民党幹事長)



憲法を活かし、雇用と暮らしの改善に全力投球！

風潮がトランプ発言にもあり、じわりと不断の生活のなかにはいてきている。「敵をつくる、国家の安全へ脅迫観念を持たせる、などファシズム15条件にいくつ当てはまるか」など、戦争法の危険な流れが拡がっていると指摘する発言が続いた(野崎)



「共謀罪」の法整備がないため、反テロ国際条約の批准ができない。東京オリ・パラリニックが開催できないという。東京招致での「アンダーコントロール」がいつ共謀罪となったのか。共謀罪成立は人との合意が必要とされるが、どう立証するのか。協議を予想して盗聴などが市民生活に入り込むのではないか。すでに大分では社民党などの建物で警察の隠しカメラが見つかったが、合法化される？(哲)



根室ながきり昆布 200g 1000円 社民党県連合まで

党県連合活動日誌

- 12/28 党定例街宣、後、事務所仕事納め
- 1/9 国労地本・1/12 全国一般岡山旗開き
- 1/14 部落解放同盟・1/15 岡山地区労旗開き
- 1/18 時事問題懇話会(トランプ・ショック2)
- 1/19 私鉄県協旗開き
- 1/19 ストップ戦争法総がかり
- 1/20 高梁平和センター旗開き
- 1/22 新見地区労旗開き(メッセージ)
- 1/22 党県連合常任幹事会
- 1/25 党県連合定例街宣(岡山)
- 1/28 おかやまいっほん街宣イベント(岡山)
- 1/28 J R貨物労組・1/29 新社会党旗開き
- 2/1 南北朝鮮共同宣言記念・講演会

「新報」読者会
2月14日(第2火) 18時
弓之町「時事問題懇話会」
2月17日(第3金) 18時
*聞きたい、話したい人歓迎
いずれも岡山社会文化会館

「投稿」共謀罪で暴走加速？
「共謀罪」の法整備がないため、反テロ国際条約の批准ができない。東京オリ・パラリニックが開催できないという。東京招致での「アンダーコントロール」がいつ共謀罪となったのか。共謀罪成立は人との合意が必要とされるが、どう立証するのか。協議を予想して盗聴などが市民生活に入り込むのではないか。すでに大分では社民党などの建物で警察の隠しカメラが見つかったが、合法化される？(哲)

府が右というのを左とは言えない」というメディアのトップがいた。「沖縄の2つの新聞はつぶさないといけない」というメディアの席にある作家もいた。これを凌駕する者が登場した▼アメリカ・トランプ新大統領の誕生は世界の予想を裏切った。大統領選中の「まさか」の妄言が現実となり、連日あからさまな口撃がマスコミをにぎわす▼トランプ氏の言動を批判した有名女優にすぐさま「最も過大評価された女優」と、大統領自らツイート。大統領就任式の出席も異例で白人男性が席巻し、「これ何なの?」。欧州では極右が台頭▼「核のボタンを握る人」への不安がよぎるのは話が飛躍し過ぎか▼「ウソも100回言えば本気になる」「大きなウソほど大衆は疑わない」とは、教訓として言い尽くされた言葉であるが歴史は繰り返すのか▼「反発する人たちを『共謀罪』で押さえつけるなら『恐怖政治』であり、運動を萎縮させる狙い」の動きもある。今一度、廻りの人と話し合ってみよう(の)

